

平成26年12月8日

「第3回全国キャラバン講習会 in 東北」開催結果報告

「第3回全国キャラバン講習会 in 東北」は、(a)持続的可能な社会などの望ましい環境の創造に貢献するシステムとしての環境アセスメントへの理解、(b)学会員が持つ最先端の知識の価値と有用性を一般に向けて分かりやすく解説すること、(c)市民が望む環境質への接近、環境倫理の向上に資する活動などを通して広く学会活動などを理解してもらうことを目的に、講師の講演と参加者との意見交換の場として開催している。また、学会とか研究とかに接することができる機会が少ない東京以外の都市において、環境を選考している学生や環境を研究している先生方、アセス審査会の先生方を主体に、コンサルタントや環境担当行政官の方々などを主な対象としている。

本年度は、(一社)日本環境アセスメント協会および東北環境アセスメント協会の共催、並びに環境省東北地方環境事務所、宮城県、仙台市のご後援のもと、2014年10月29日(水)13時30分から17時までに亘り、東北大学片平北門会館“エスパス”において開催した。参加者は、会員12名、会員外参加者22名の計34名であった。

講習会内容については、小森 繁会員(東北大学公共政策大学院教授)の司会の元、坂川 勉氏(環境省東北地方環境事務所長)によるご挨拶によって、環境行政についてのご紹介があった後、2名の演者によって講習が実施された。

1題目において、石川公敏本学会理事により企画委員会作成の小冊子「環境アセスメントを活かそう『環境アセスメントの心得』」の改定版を元に本来的・基本的な情報を提供するとともに、2題目で、柳憲一郎本学会会長により環境アセスメント士が助言するグリーンファイナンス(環境リスク調査融資促進利子補給金交付事業)に関して解説した。

キャラバン講習会終了後には、片平北門会館内の「レストラン菘」において懇親会が開か

れた。懇親会には、18名の参加者があった。

以上

